

つながりあって生きている はせこども食堂

毎学期末開催



「おかえり〜」「ただいまぁ〜」元気いっぱいに応える声や少しはにかんだような表情を浮かべる子。どの子も一学期を終えたホッした表情と「おなかぺこぺこ😞」という声々…。学期に一度のこの日を待っていたハラペコたちのがんばったランドセル。学期末なので荷物もい〜っぱい。

「はぁ〜い!先に受付してね。」「名前教えてね。」「うわっ 次のつぎ!」「やったー!」とワイワイ。

はせこども食堂はこどもを取り巻く環境が悪化してきたことにより、“地域でまずはつながりの再構築を”と 約10年前に始められました。お腹を満たしたこどもは学び塾。(月1回水曜日開催)将来的には「もっとこの取り組みを増やしたいなあ」と、スタッフの夢は広がっていきます。(^o^)

この日は、なんと大人とこども合わせて190人もの人が集いました。





・センター長からのお話

今日のメニューはカレーライス、ゼリー、お菓子です。おかわりしてな! 食べ終わったら涼しい所で勉強(学び塾)しましょう。困ったことがあったら教えてね。こどもたちのフレッシュな笑顔を見て、センター長もニコニコ。😊

・先生へのインタビューより

学校から近いこともあり、とても来やすい所です。センター長が迎えに来てくれるので先生もいっしょに来ています。今日は初瀬小学校から42名が来ました。

やがて、ほかの学校からもこどもたちが集まりだしてきました。



「どれにしようかな？」

「これにしようかな～」

お菓子をかごの中から選ぶこどもたち。

「ひとり一個ずつやからなあ～」優しく温かいまなざしを向けるセンター長の姿がありました。「私、20回目やで!」「初めてきてん! おかしもらってん。」「1時になったら勉強会あるねん」と、こどもたちはいろいろ話してくれました。



中学生がこども食堂に来ると、小学生がパソコンを教えてほしくて取り囲みます。「カレー食べたら勉強みよか?」「うん!」と嬉しそうに心なしか食べるスピードが早くなったように感じたのは取材者の思い違い?

ここに来ると、異年齢のきずなも深まっているようです。😊



おばちゃん!
カレーおいしかった!
ごちそうさま!

よろしゅうおあがり~



さあ~、おなかいっぱいになったね。
この後はどんなことして過ごすのかな?



あとがき

昔、児童館を利用していた子たちが今は保護者となっています。保護者もこどもたちも安心感でいっぱいのように、気になったこと困ったこと、どんなこともスタッフに話すということがとても印象的でした。スタッフも「登校日はそうめんやで。」「先生もゆっくり食べていってや」と、いろんな人に声をかけ、“みんなつながってる”“みんな受け入れてくれる”ということが会話から感じ取り、取材者もほんわかとした気持ちになりました。近隣小中には、こども食堂申し込み書を配布しているとのこと。”こども食堂“がどんなところなのかが広く知ってもらえたり、申し込みを取ることで身近に感じ参加しやすくなるんだろうなあと感じました。お腹だけでなく、心もほっとりと満たされた気分になった一日でした。